

グローバル ガバナンスにおける不確実性への対応:

地域政策に関するワークショップ

2025 年 10 月 29 日(水)東京 9:00 – 18:00

会場: 駐日欧州連合代表部

〒106-0047 東京都港区南麻布 4 丁目 6 番 28 号 ヨーロッパ・ハウス

概要:

グローバル ガバナンスは大きな変化を遂げています。その変化には、長い時間をかけて形成された要素もあり、民間主体の台頭や、G7/G20、BRICS などのクラブ形式の枠組みの登場、さらには国連システムの非効率性に対する批判が含まれます。近年では、新たな課題が浮上しており、特に、強国間での競争の激化や、国際協力を軽視するナショナリズム的ポピュリズムの台頭が挙げられます。NAVIGATOR プロジェクトは、こうした変化を評価し、EU や国際パートナーが、地球規模や地域規模で存在するさまざまなガバナンス体制の中から、どのように優先順位をつけ選択すべきかについて指針を提供することを目的としています。このプロジェクトは、「検索コスト」という概念を出発点に、グローバル ガバナンスにおける革新と衰退の領域を探索します。特に、アジアの地域的経験や、保健分野およびデジタル ガバナンスにおける固有の課題に焦点を当てています。

本ワークショップは、ノルウェー国際問題研究所 (NUPI) と欧州連合駐日代表部が共同で主催しており、EU が資金提供する NAVIGATOR プロジェクト(eunav.eu) の一環です。このプロジェクトは、ルールに基づく国際秩序を推進するため、欧州がますます複雑化するグローバル ガバナンスの制度的空間をどのように航行すべきかを検証するための、研究者によるグローバルなコンソーシアムです。

プログラム登壇者

Thomas Gnocchi, Deputy Ambassador, Delegation of the EU to Japan

John Karlsrud, Principal Investigator, NAVIGATOR, Research Professor, Norwegian Institute of International Affairs (NUPI)

Leonard Seabrooke, Professor, Copenhagen Business School

Wrenn Y. Lindgren, Senior Researcher, NUPI

Yoko Iwama, Professor, GRIPS Tokyo

Ole Jacob Sending, Research Professor, NUPI

Chiyuki Aoi, Professor, The University of Tokyo

Eleni Tsingou, Professor, Copenhagen Business School

Akiko Fukushima, Senior Fellow, The Tokyo Foundation

Hiroshi Nakanishi, Professor, Kyoto University

Ayako Kobayashi, Associate Professor, Sophia University

Peter Fatelnig, Minister Counsellor for Digital Economy Policy, Delegation of the EU to Japan

Eneken Tikk, Senior Researcher, Tallinn Institute of Technology

Mihoko Matsubara, Chief Cybersecurity Strategist, NTT Corporation

Dai Mochinaga, Associate Professor, Shibaura Institute of Technology

Leonard Seabrooke, Professor, Copenhagen Business School

Alexander Kentikelenis, Professor, Bocconi University

Yasushi Katsuma, Professor, Waseda University

Kayo Takuma, Professor, Keio University

Ayako Takemi, Associate Professor, The University of Tokyo

NAVIGATOR について

EU 多国間協力ナビゲーター

EU は、ルールに基づく国際秩序を推進するために、複雑化し対立が深まるグローバル ガバナンスの制度的枠組みを、どのように舵取りすべきでしょうか。また、多国間主義を再活性化するにあたって、どの機関を強化し、どの機関を改革し、あるいはどの機関を迂回すべきかを検討する際、どのような要素を重視すべきでしょうか。

ナビゲーター (NAVIGATOR) の主な目的は、これらの問いに答えるとともに、EU および加盟国がルールに基づく国際秩序を強化する際に活用できる、実践的な「探索メカニズム」とそれに関連する行動経路を提供することです。この目的を達成するため、NAVIGATOR は、強力な国際的かつ学際的な研究チームを組織し、気候変動、デジタル化、金融・税制、保健、移民、安全保障という 6 つの政策領域における制度的差異を分析します。これにより、各政策課題で EU が最も効果的に影響力を発揮できる制度的組み合わせを特定することを目指します。

我々は、EU が特定の政策課題において最適な影響力を発揮できるようにする制度的組み合わせ-特に、制度の**形式性** (正式から非公式)、**アクセス可能性** (開放から閉鎖)、**規範性** (技術的から明確に規範的) の 3 つの側面における変動を比較検討し、EU にとって最適な制度的構成を明らかにします。得られたデータに基づき、内容分析、ソーシャルネットワーク分析、半構造化インタビュー、さらに欧州および世界規模の調査を組み合わせることで、NAVIGATOR は「探索メカニズム」を開発します。このメカニズムにより、EU および加盟国は、既存の多国間組織の強みと弱みを比較し、改革が可能な組織と、改革コストが過大な組織を見極め、代替案を特定・評価することができます。その結果として、多国間主義改革に向けた実践的な行動戦略の策定が可能になります。NAVIGATOR は、EU のワークプログラムに極めて高い関連性を持ちます。なぜなら、本プロジェクトは、多国間機関や枠組みの有効性を評価し、特定の政策分野におけるグローバル・ガバナンス推進のために、EU が多国間、小規模多国間、民間、官民連携などの各種イニシアチブをどのように支援すべきかを明らかにするからです。さらに、ウクライナ戦争、ナショナリズムの台頭、反 EU ポピュリズムといった現代的課題の文脈において、EU の関与戦略に関する具体的な提言を提示します。